

Case Study

シェイク研修 導入事例 取材レポート

vol. 17

エプソン販売株式会社

総務部(人材開発企画)
主任
木村 友子 氏



入社後、受注センターの配属を経て、現在は総務部(人材開発企画)にて主に若年層(入社1～6年目)の育成を担当されている木村さん。「一人一人が目標を持ち、仕事も人生も楽しむことが、会社にとってより良い成果につながると思います。特に若い人には、しっかりと目標を持って、いきいきと仕事に取り組んでもらいたいため、社員一人一人の最大限の能力を引き出すためにキャリア・能力開発の支援をするのが現在の役割です」と、仕事を通じて社員の成長を願う木村さんに、今回、ご導入いただいた3年目社員研修についてお話を伺った。

会社プロフィール

1983年設立。社員数1,487名。
情報関連機器(プリンタ、カラーイメージスキャナ、カラーコピーサーバー、パーソナルコンピュータ、液晶プロジェクター、パソコンPOSシステム、財務会計システム、財務・税務・業務パッケージソフトなど)の卸売として全国に27カ所の支店・営業所を持つ。

実施概要

エプソン販売株式会社のC等級昇格試験(論文・面接)合格者36名を対象に、入社3年目研修として「自律的キャリアDRIVE(1日目)」「セルフマネジメントDRIVE(2日目)」を実施。

shake inc.

受講者たちが抱えていた課題には、どんなことがありましたか?

入社から1～2年は言われたことを一人でできるようになる時期だとしたら、3日目からは、周りに迷惑をかけず仕事をするだけでなく、周りを巻き込んだり、職場の雰囲気を考えたり、受け身ではなく、どんどん主体的にチャレンジしていくことが求められています。

仕事においても本当に自律していないと、自分で考えて主体的に行動することはできないと思います。

入社してからの3年間は「考える前にとにかく行ってみる、やってみる」という環境で過ごしてしまったので、あまりじっくりと考えることがなかったのではないかと思います。「とりあえずやってみる」という育成スタイルで育ってきて、考えなくていいなら、考えない。やっ

研修を実施して、いかがでしたか?

1日目は、自分の棚卸し。
2日目は、業務の効率を考える。
組み合わせ研修が効果的。

2つの研修を組み合わせさせていただいたことは、非常に効果的だったと思います。日常において、仕事が忙しい中、自分を振り返るという時間はないですし、そのやり方もわからない。そういう中で改めて自分を振り返って、自分を見つめ直すという時間は、すごく大事なことですよね。初日の、自分を振り返るという研修(自律的キャリアDRIVE)では、ほとんどの受講者が、「考える」ということができていなかった自分につまずき、焦りもあったのではないのでしょうか。普段、考える機会が少ない彼らにとって、とても厳しいものだったようです。「なぜ、自分につ

◎ 事例紹介 — for 若手・中堅社員

自律的キャリアDRIVE & セルフマネジメントDRIVE

自分の内面を振り返り、一歩踏み出せる人材へ！ 仕事への考え方を劇的に変える若手・中堅社員研修。

てできればいいのだ。結果を残せばいいのだ、というように最終的な成果だけしか見ていない。それが課題でした。

今回、シェイクの研修を導入したきっかけを教えてください。

3年目研修に求めていたのは「リーダーシップと自律」。そこにマッチしたのがシェイク流!

今回の研修を導入する前は、社内での内製で行っていました。社員育成は一番身近な立場である内製実施が一番有効だと思っていたのです。ですが、身近な存在というメリットの裏にはデメリットもあり、内製によるINPUTの物足りなさ・個々への落とし込みの限界を感じていたのは正直なところです。

そこで、研修のプロにお願いすることにしました。外部の会ったことのない、社会で言ったら大先輩の講師の方に「君たちのレベルは、世の中の3年目の社員としてはこのぐらいだね」と言われたとすれば、すごく衝撃を受けると思うんです。他にも数社さんからご提案を頂いていましたが、シェイクに決めた理由は、想いと価値観が弊社と一致したことです。特に3年目研修には、「リーダーシップと自律」をテーマにしていますから。

一人一人がいきいきと仕事をしていなかったら、会社として良いものをお客様にご提供できないと思っています。3年目、4年目の社員は、現場の第一線で活躍していますから、毎日の業務が忙しい中で、なかなか自分を振り返ったり、考えたりする機会が少ないのが現状です。シェイクの2日間の研修には、社員一人一人が自らを考え、目標設定をした上で行動するようになる仕組みが十分に盛り込まれていると思いました。

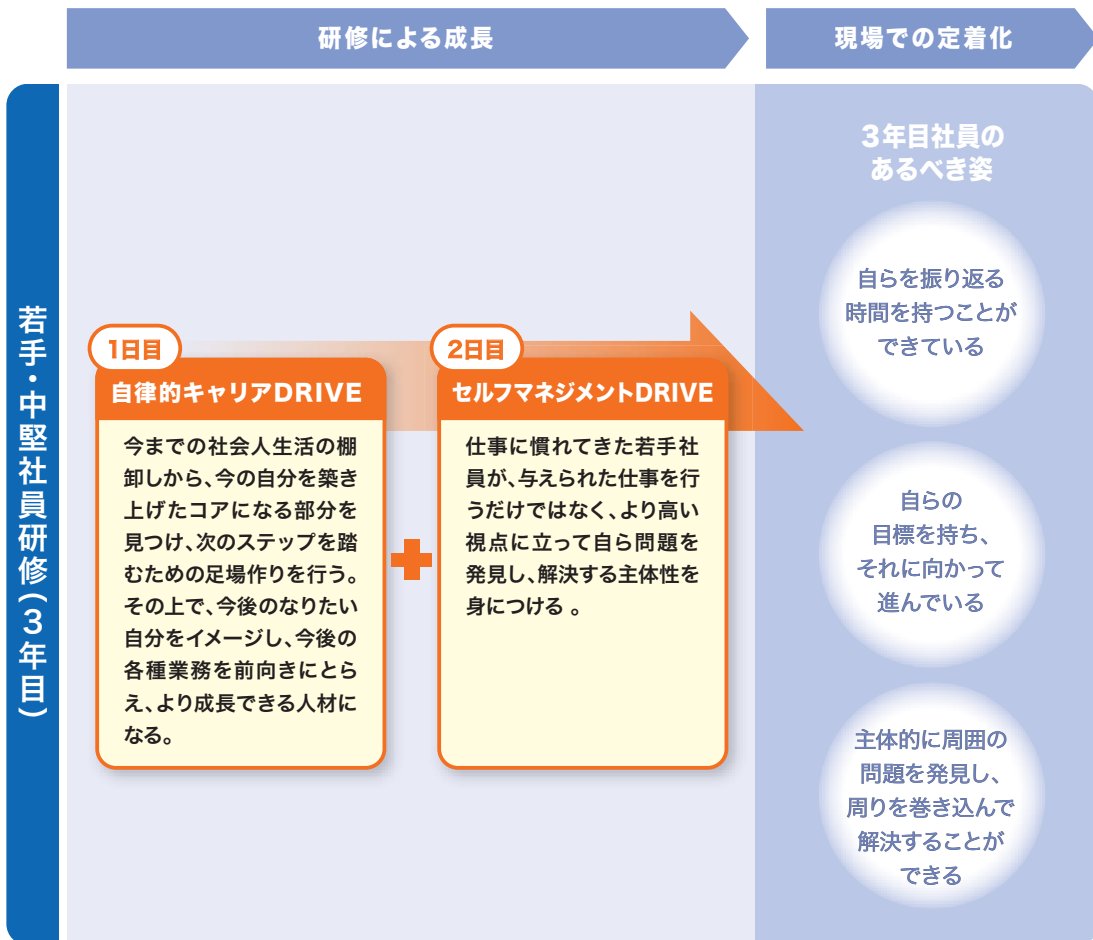
て考えなければいけないの?」という疑問すらあったかもしれません。しかし、徐々に、自分のことを見つめ直し、自分を理解することで、強みや弱みもわかっていき、自分は何が不満だったのか、心の声を汲み取れた時間だったと思います。「本当の自分ってこうだった」というのが改めて発見できた1日だったのではないのでしょうか。おそらく、1日目終了したときは、理解できなかったかもしれませんが、2日目の仕事の仕方に関する研修になったときに、やっと1日目の自分の振り返り、棚卸しをつなげて考えられるようになってきたという感じです。考えることの大切さを1日目で学んでいますから。2日目の仕事の進め方や、効率を良くしていくという研修(セルフマネジメントDRIVE)だけでしたら、なんとなくスムーズにできていたと思います。浅くスムーズにこなして、ありきたりな研修で終わってしまったかもしれません。1日目の自分の振り返りと、2日目の仕事の仕方の研修をつなげて考えることで、「ああそういうことかと、いつもここにつまずいていたのはこれが原因だったんだ」と広い視野で考えたり、深く考えたりすることができたと思います。

受講者の反応はいかがでしたでしょうか?

アンケートに「ほんとにこのタイミングで、この研修を受けてよかった」というコメントが、いくつもありました。今回の研修を通じて、いままで小さくまとまっていた自分やこれからの自分の可能性に気づいてくれたと、すごく思います。社会人3年目は、今後の自分の人生や、仕事のスタイルやポジションなどについて、ふと考えるときだ思うのです。ですから、この3年目での研修は、今後の自らの方向性を考えるきっかけとしては、非常に大事なものでした。改めて考えること・振り返ることが必要だという認識ができたのは、間違いなく本人たちのためになったと思います。今後の彼らの成長が非常に楽しみです。

プロジェクト全体像

「自律的キャリアDRIVE」と「セルフマネジメントDRIVE」研修を組み合わせ、今回の事例をご紹介します。



アンケートより

研修に参加した方々にアンケートに答えていただきました。

自分自身を深く見つめ直すことができた

問題解決のためにすべきこと、また今までそれができていなかったことなどに気づかされました。そして、自律という責任が大きくなっていく中で、周囲をとりまき行動していくためにも環境のせいにして、受け身の姿勢でいることはいけないということにも気づきました。1つのことを1として、受け止めるのか、10で受け止めるのかは全て自分自身の気持ち、そして取り組む姿勢だということを再確認できました。自分を見つめ直す良い機会を設けていただきありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

自分の目標について深く考えることができた。

研修が難しいというよりも自分自身の頭のかたさにかっかりしました。しかしながら、改めてこの部分を考えることができ、自分の目標も考えることができました。もう少し主体的にできればということが心残りですが、今後の生活には活かします。ありがとうございました。

他責だった部分を自責にしなければいけないと実感した。

全て受け身の研修ではなく、自分自身が考えないことには、何も実にならない。その代わりに、考えれば考えただけの何かしらの実りあるものが自分に返ってくる。そんな有意義な研修でした。